

## 放送ストリーミング情報収載

### 放送ストリーミング情報【2024No.360】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：アントン・ブルックナー

曲名：交響曲第2番ハ短調（1872年・第1稿）

演奏：シモーネ・ヤング指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55635>

2024年12月7日大ホールでの演奏です。



ヤングがブルックナー「第2」とリームを指揮

ブルックナーの交響曲を初稿で指揮することを好むシモーネ・ヤングはこう語ります。「初稿は後の稿に比べれば完璧ではないかもしれない。だが、後者にはない現代性がそこにはある」。ブルックナー「交響曲第2番」の初稿に加えて今回のコンサートで披露されるのは、ヴォルフガング・リームの《猟区》です（独唱：ヴィダ・ミクネビキューテ）。ドイツ統一の前夜に檻に囚われている鷲を解放した女性が、鷲に見惚れ、最後には殺してしまうという陰鬱なモノドラマです。

以上の他に下記が演奏されました。

ヴォルフガング・リーム 《猟区》

ヴィダ・ミクネビキューテ(ソプラノ)

ブルックナーの交響曲第2番は、今年はブルックナー生誕200年ということでブルックナーのプログラムが数多く演奏されてきましたが、今回の交響曲第2番もその一つです。ヤングの女性指揮者らしいソフトなリードで、ブルックナーらしい抒情性に富んだ旋律が続き、終章ではこれもブルックナーらしい重厚な展開になります。

リームの《猟区》は、初めて聴きましたが、効果音などもバックに物語風の歌唱が続き、ミクネビキューテのダイナミックなソプラノが朗々と響き渡ります。

これまでに実施してきた対策に加えて、直近では、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続により、抒情的な表情から重厚な表情、ソプラノのダイナミックな歌唱まで十分に再現されています。



以上